

令和6年度 田原市道路計画検討業務

調査の概要

「渥美半島道路」の必要性を考察するための基礎資料を作成しました。
 物流における**2024問題**の状況等について運輸事業者へのヒアリングを行い、「渥美半島道路」の整備効果を推定し、その必要性を検討しました。

渥美半島における道路の課題

- 渥美半島の出入りは国道259号、国道42号、(主)豊橋渥美線の計8車線に限られる
- 2本の国道はともに片側1車線のみで路肩が狭く追越禁止である。農業トラクターや太平洋岸自転車道のサイクリストの混入によりトラックの走行には速度低下もあり支障がある。



～ヒアリングより～
 大雨の時に国道259号(田原市豊橋市の市境付近)で冠水し、土砂崩れもあり、帰宅できなくて困りました。臨海部の液状化も心配です。

物流コスト増と渥美半島の農業

現在は物流コスト増による生産者の収入減

販売価格	物流コスト増大(燃料費増、給与増等)		市場コスト
	生産地運輸	長距離運輸	

市場価格維持の「しわ寄せ」 ← 田原市農業へのマイナス効果

～ヒアリングより～
 2024問題を含めて物流コストは高騰しています。物流コストの高騰は生産者の販売価格に影響を及ぼしている可能性があります

物流コスト抑制で生産者を守る

販売価格	物流コスト抑制による販売価格維持		市場コスト
	生産地運輸	長距離運輸	

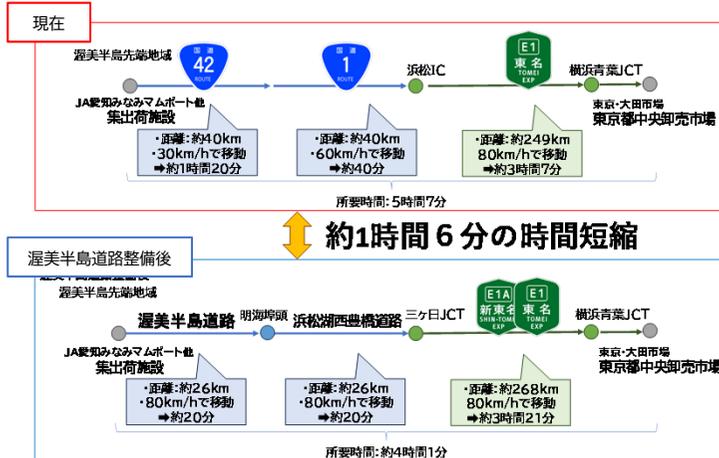
渥美半島道路等高規格道路の効果

2024問題が叫ばれるなか

物流のコスト増の抑制し生産者を守るには
渥美半島道路等の高規格道路
 による時間短縮は重要です。

※『渥美半島道路』等高規格道路の整備により、ドライバーの道路走行環境(信号によるストップ&ゴー、事故リスク、走りやすさ等)が改善されるとともに、半島内移動・市場への移動時間が短縮され、2024問題における労働環境と労働時間の両面を改善し、物流コストは低減されます。その結果は、農業生産者の収入増につながり、指定野菜等の食料生産の継続ができ、日本の食料安全保障の一翼を引き続き担う地域となることができます。

東京都中央卸売市場への出荷 → 約1時間6分の短縮 (渥美半島道路と浜松湖西豊橋道路の時間短縮試算)



～ヒアリングより～

運転4時間に30分の休息が必要です。道路により運行時間が5時間から4時間になれば、休憩を減らした走行もできます。早朝の帰宅が1時間以上早くなると身体の休み方が違います。

片道1時間6分(往復2時間12分)の時間短縮は「年間残業時間を960時間(月換算80時間、日換算4時間)に制限」とする**2024問題**に効果があります。さらに、年間残業時間制限を超えない範囲であれば、現在の行程に新たな市場を加えることや月に2回程程度の新たな運輸を追加できる期待もあり、利益率をさらに上げ物流コストをさらに抑制できるかもしれません。

1時間6分の時間短縮効果

- ①2024問題における時間外労働の抑制
- ②「より早くより多く」市場を廻れる優位性